

2022年6月9日

学校法人三幸学園  
沖縄ビューティーアート専門学校  
校長 萩原 知子 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 真下 雄貴

### 学校関係者評価委員会実施報告

2021年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 真下 雄貴 (株式会社ビルネット 営業本部)
- ② 村橋 哲矢 (東京都美容生活衛生同業組合 専務理事)
- ③ 岡田 真希 (飛鳥未来きずな高等学校 沖縄キャンパス主幹教諭)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2022年6月9日 (会場 沖縄ビューティーアート専門学校 応接室)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2021年度 学校法人 三幸学園 沖縄ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小川 大輔

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 真下 雄貴

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教務目標：美容業界・各学科・コースの業界、授業に魅力を感じ、生徒が学びがいを持って学校に通っている

授業アンケート：授業に対する先生の熱意を感じる 3.78 以上(4 点満点)

授業方法は生徒の興味をひくように工夫されていた 3.66 以上(4 点満点)

私語を注意するなど、適切な授業環境を保った 3.71 以上(4 点満点)

進級・卒業率：94%以上

キャリア・就職：進路決定率 100%

卒業生アンケート：熱意や愛情を感じる先生はいましたか・・・たくさんいた 60%以上

本校への進学相談を受けた場合、本校を進めますか・・・進める 50%以上

### ① 前年度重点施策振り返り

授業アンケートの結果は、授業に対する先生の熱意を感じる 3.84、授業方法は生徒の興味をひくように工夫されていた 3.75、私語を注意するなど、適切な授業環境を保った 3.79 と全項目目標を上回る事ができた。コロナ禍の中であったが、オンラインなども活用し、様々な工夫を行いながら授業を展開できたため、今後さらに魅力的な授業を行えるよう取り組んでいく。卒業生アンケートの結果は熱意や愛情を感じる先生はいましたか・・・たくさんいた 47.8%、本校への進学相談を受けた場合、本校を進めますか・・・進める 43.5%と目標に届かなかった為、この結果を真摯に受け止め、改善に努めていく。進路・就職決定率に関しては 100%と非常に素晴らしい結果を出せたので、今後も継続できるように努めていきたい。進級・卒業率は 87.6%と目標に届かない結果となったが、退学者に関しては、将来に向けて本人、家族、教職員での話し合いなどをしっかりと行った上での退学となった。他の業界への進路変更もあったため、授業や学校生活の中で、より美容業界の魅力を伝えていけるように 2022 年度は取り組んでいく。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

- コロナ禍の中での授業は本当に大変だと思う。只、その中でも授業アンケートでは高評価を得ることが出来たことは、如何に工夫された魅力的な授業を生徒に伝え続けた、学校側の姿勢が伝わった結果である。(真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・ 理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明しているが、様々な場面で繰り返し伝えつつしていく必要がある。（以前課題としていた見える化は進んでいる）
- ・ 社会や美容の動向やニーズを踏まえて、SNS での集客方法を学べる授業や、デジタル教科書、VR などの最新技術を活用した授業の導入を導入し始めているが、まずは教職員の理解や、慣れが必要だと感じているので、研修や会議を繰り返し実施し、いかに取り組みをブラッシュアップしていけるかが課題。

#### ② 今後の改善方策

- ・ 繰り返し教員から、様々な場面で理念・人材育成像を伝え続けていく。
- ・ 新たに取り入れた授業や、最新機器・ツールなどをしっかりと軌道に乗せていけるように、研修や会議を実施していく。

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 学校の理念・人材育成像は引き続き伝え続けて（見える化も）ください。最新技術を活用し質の高い授業を行うには、教職員のブラッシュアップに取り組む必要があると考えます。（真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）
- ・ 美容業界が求める人材としては、臨機応変な対応力があることと、最近は人間力も求められている。またデジタル化に長けた人が技術に長けている訳ではない。SNSに投稿されたことが再現性のないことをお客様もわかってきている。授業でSNSを取り上げることもよいが、美容のマーケットが増える訳ではないので新しいことを考えることができる人材、突出した特徴のある人材を育ててほしい。（村橋委員：美容科、ヘアメイク科について）

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

- ・ 2021 年度コロナの影響もあり規模縮小になってしまった行事や、授業のやり方を変更したもの(対面とオンラインでのハイブリット型授業を導入した)などもあったが、概ね事業計画通りの運営を行えた。今後もできる限り計画通りの運営が行えるように、学内外での感染対策、体調管理などの指導を徹底していく必要がある。
- ・ 働き方改革が進む社会において、多岐に渡る校務分掌がある中、コロナの影響で対応しなければならないことも増えているので、情報共有・収集の強化、システム化などをより進め、効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営を行っていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・ 社会情勢を踏まえた事業計画を立てると共に、学内外での感染対策などの生徒指導を徹底し、可能な限り計画的な運営、かつ安定した運営を行っていく。
- ・ 全国に姉妹校があるスケールメリットを活かした、情報収集などによる効率化、OJT・OFF-JT による育成システムの構築による教職員のレベル UP を図る。

### ③ 特記事項

- ・ 2021 年度途中より、タブレットを活用し、出席管理を開始。ネット環境の問題など時々起きてしまうが、軌道に乗せることができている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナ禍の影響もあり学校運営はとても大変だったかと思う。引き続き感染対策等徹底した学校運営、生徒指導の程、よろしく願います。(真下委員:美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

- ・ コロナの影響もあり、実践的な職業教育の場を当初予定していたよりも実施できなかったため(オンラインでは実施)、関連分野や関連企業・団体との連携の強化を行い、今後実習先を増やしていく必要がある。特にトータルビューティー科メイクコースの実習先の充実を図っていくことが課題。
- ・ 生徒数増加に伴い、教員の人数も増えたため、経験が浅い教員の育成を行っていく必要がある。(現在はベテラン教員とペアで授業を実施している)

#### ② 今後の改善方策

- ・ 業界との繋がりを強化、実習先の充実に繋がられるように、積極的に情報収集や企業訪問を実施する。(コロナ禍で難しい場合は引き続きオンラインなども積極的に活用していく)
- ・ メイクコースに関しては、必要に応じて実習時期をずらすなどの対応も検討して対応していく。
- ・ 教員研修などを行い、教員の育成を行っていく。

#### ③ 特記事項

- ・ 全国のビューティーアート専門学校合同の取り組みとして、テクニカルチームを組み、美容科・ヘアメイク科の教員中心に技術力向上に努めている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナの影響で実践的な職業教育の場を予定していたよりも出来なかったのは残念だったが、引き続き関連企業・団体との関係を強化してほしい。又、経験が浅い教員の育成も引き続きお願いしたい。(真下委員:美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)
- ・ ファッションに関わるものの購入についてインターネットが主流になってきているが、化粧品もそうになっており、ヘアメイクと呼ばれる職業も厳しい状況になりつつある。そういった人たちが新しい会社を設立し人材派遣を行っており、今までの就職の傾向と変わってきていると感じている。そのような変化に焦点を当てた授業を行ってほしい。(村橋委員:美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

##### ① 課題

- ・ 1期生の進路決定率、就職率は100%であったが、生徒が増えてもこの結果を継続していくこと。
- ・ 2021年度美容師国家試験の合格率は100%、その他主要な資格の合格率も高水準だったので、今後もこの結果を継続していくこと。
- ・ 退学率を低減させていくこと。
- ・ 今後、生徒数が増えることを見据えての就職先を更に充実させていくこと。(特に沖縄県内)
- ・ 卒業後の卒業生との関係性の構築していくこと。(卒業生用公式LINEや、学園独自のシステムなど関係性を構築できる環境は整えられている)

##### ② 今後の改善方策

- ・ 高い資格合格率・取得率の継続⇒教科会の定期開催、授業・資格対策の質向上
- ・ 退学率低減 ⇒ 授業・学校生活での業界魅力伝達の強化、保護者との連携強化
- ・ 就職先の更なる充実 ⇒ 県内の企業や施設への訪問、情報収集を強化することでの求人獲得
- ・ 卒業後の関係性の構築 ⇒ 構築している仕組みを軌道に乗せていく

##### ③ 特記事項

全国展開している姉妹校との連携により、資格取得や就職に向けた傾向と対策を実施。また退学率低減についても教育開発部が主導となって、退学者への様々なアプローチを実施し、低減に努めている。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 美容師国家試験の合格率100%、その他の主要な資格の合格率が高水準を今後も継続して欲しい。また業界の魅力を伝えること、就職先の更なる充実など課題はあるかと思うが引き続き努めてほしい。(真下委員:美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)
- ・ 就職率100%は素晴らしい。卒業生とのネットワークをしっかりと使用し動向を把握し、離職者の復職を学校が担うといった新しい事業を展開できるようになるとよい。(村橋委員:美容科、ヘアメイク科について)

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・ 進路・就職支援体制に関しては、生徒数、沖縄県内への就職希望者増加に伴い、沖縄県内での求人の獲得強化が課題。
- ・ 学校独自の特待生制度や、学費サポート制度、スクールカウンセラーの設置など体制を整えているが、制度だけでなく担任を中心として、学生がより相談しやすい学校、生徒の変化に教員から気付き声をかけられる学校にしていきたい。また、課外活動への支援体制を強化していく必要があると感じており、卒業後の支援体制も軌道に乗せていきたい。

### ② 今後の改善方策

- ・ 企業訪問、連携などを強化し、沖縄県内からの求人確保に努める。
- ・ 入学・進級直後での面談に加えて、教員が各クラスに顔を出し、生徒の変化などを確認する、声をかける機会を増やす。また、教員間での情報共有をより加速させていく。生徒の変化などをよりタイムリーに把握し、必要に応じて保護者の方にも協力頂き対応していく
- ・ 支援体制の仕組化を進めていく(2022年度よりトータルビューティー科で有給インターンシップ制度を開始)
- ・ 同窓会 Sanko-Link や、卒業生用公式 LINE を活用し、卒業後の支援体制を軌道に乗せていく

### ③ 特記事項

- ・ 全国の姉妹校との連携を活かして、オンラインでの進路・就職支援制度の整備は進んでいる。
- ・ 高校と連携し、部活動や、キャリアに対するサポート、取り組みを積極的に実施できている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

学生が安心して学校生活を送ることができるよう、あらゆる面からサポートできる体制や制度の検討を引き続きお願いしたい。また保護者との連携は専門学校と言え重要と考えている。保護者としては子どもの成長を伝えてほしい、保護者が安心して子どもも安心して学校に通うことができるようになる。保護者を巻き込んで学生を支援してほしい。(真下委員:美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について)



## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

- ・ コロナの状況、社会情勢、生徒数の増加なども踏まえながら、実習、インターンシップ先の更なる確保を進めていく必要がある。（特にコロナの影響もあり、メイク関係の確保が難しく課題）また、卒業後でも希望者は学校の研修に参加できるような体制を構築していきたい。
- ・ Wi-Fi の調子が悪い日や、場所があるので改善していく必要がある。
- ・ 国内研修、海外研修の実施を検討していく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・ 積極的に情報収集や、企業訪問を行い、実習施設やインターンシップ先の充実を図っていく。
- ・ 卒業後でも学校の研修に参加できる体制を整えていく。
- ・ システム推進室と連携し Wi-Fi などの環境をより良くしていく。
- ・ コロナの状況を踏まえながら、国内研修、海外研修の実施を検討していく。

### ③ 特記事項

- ・ 全教室に PC プロジェクターが設置されている。
- ・ 自由視点映像映やマルチアングル映像を実現可能な SwipeVideo、VR を導入している。

### ③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 実習施設、インターンシップ先の開拓を引き続きお願いしたい。卒業後でも学校の研修に参加できる体制はとても良い取り組みである。早期構築を期待している。（真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）
- ・ VR は本協会でも導入して 4 年目に入る。関心は高く、これから増々需要が高まってくると考えている。おそらく国家試験対策で導入しているのは御校だけだと思うので、今後も効率的な教育を行ってほしい。（村橋委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・ 美容科・ヘアメイク科は定員が早期に埋まってしまっている状況であるため、今後も高校生、保護者、高校の先生方にしっかりと説明、告知を行っていく必要がある。（2021 年度は大きな問題や混乱なく対応することができていた）
- ・ 奨学金や高等教育無償化に関して、高校でしっかりと説明を受けていないケースが多くあるので、オープンキャンパスなどを活用して、本校からも説明や告知を行っていく必要がある。（2021 年度は大きな問題や混乱なく対応することができていた）

### ② 今後の改善方策

- ・ オープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく。
- ・ 美容科・ヘアメイク科の定員増に向けて準備を進めていく。

### ③ 特記事項

- ・ 一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、沖縄広報室からの支援も受けて募集活動に取り組んでいる。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 学生受け入れ募集活動時、十分な説明、告知を引き続きお願いしたい。（真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）
- ・ 修学支援について、新制度が施行されたことで進学はしやすくなっている。専門学校としても広く告知をおこなっていただきたい。（岡田委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

- ・ 現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- ・ 自己評価で浮き彫りになった課題を解決していく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・ 各項目、自己評価で浮き彫りになった課題に対して、しっかりと改善策を実施していく。

### ③ 特記事項

- ・ 職業実践専門課程の申請に向けて準備を進めていく。

### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 引き続き法令遵守、適正な学校運営の程、よろしく願いたい。（真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1

### ① 課題

- 2021年度は2020年度に引き続きコロナの影響で、社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動の積極的な実施が難しい部分が多かったが、学校行事などで地域の方々と一緒に取り組み、地域の活性化に繋げることができたので、こういった活動をより強化していきたい。
- 完成年度を迎えていなかったことから教育訓練受託が申請できていない。

### ② 今後の改善方策

- コロナの状況を踏まえながら、社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動を強化していく。学校行事に関しても、学校内だけでなく、地域の方々と一緒に行っていく取り組みをより積極的に実施したいと考えており、スチューデントサロンにて地域の方々に、学校生活での学びを披露し、貢献する活動なども検討している。
- 今後、教育訓練性の受け入れを検討していく。（現在、教育訓練給付制度の申請中）

### ③ 特記事項

- 様々な方や、団体施設と連携し、施設の貸し出しや、サポート、ボランティアを実施している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- コロナ禍の中で積極的な社会貢献活動、地域貢献活動、ボランティア活動は思うようにできなかったかと思いますが、引き続きこのような活動は続けていってください。地域の方々からも愛される学校を目指してほしい。また就職先を増やすことが大きな課題となっているが、生徒の実践の場を評価していただく場があってもよい。よい活動を地域にも積極的に発信していただきたい。（真下委員：美容科、ヘアメイク科、トータルビューティー科について）
- 貧困家庭の美容の無償化を考えた時、サービスを提供する場として学校の施設設備を提供することができればよいと思う。沖縄独自の取り組みとしてぜひ検討していただきたい。（村橋委員：美容科について）

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

開校初年度の2020年度に引き続き2021年度もコロナの影響を大きく受ける形となったが、創意工夫を行いながら学校運営や、様々な土台作りを行うことができ、全員進路決定した状態で、1期生を送り出すことができた。また美容師国家試験の合格率100%など資格の合格率、取得率も良く、募集状況も好調で、生徒数も大幅に増加させることができた。

今後、できた土台を活かしながら、沖縄県、日本の美容業界の発展に貢献できるよう、教員研修を積極的に行うことなどによる、更なる授業の質向上を目指していく。また積極的に情報収集を実施し、業界の変化に合わせた教育の提供に努めるとともに、生徒数増加に伴い、更なる実習先・就職先の確保や、地域・企業との関係性の構築を行い、さらなる沖縄校の発展を目指す。